

各 位

平成 20 年 10 月 29 日
会 社 名 株式会社コロワイド
代表者名 代表取締役 蔵人金男
(コード番号 7616 東証第一部)
(連絡先電話番号：045・274・5970)

業績予想の修正並びに特別利益及び特別損失の発生に関するお知らせ

I. 業績予想の修正について

最近の業績動向を踏まえ、平成 20 年 5 月 2 日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成21年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想(A)	59,148	827	281	△457	△8.32
今回修正予想(B)	57,241	205	△305	△962	△16.81
増減額(B－A)	△1,907	△622	△586	△505	－
増減率(%)	△3.2	△75.2	－	－	－
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	58,133	775	366	△287	△5.47

2. 平成21年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想(A)	122,658	3,485	2,423	574	8.39
今回修正予想(B)	120,531	3,161	2,084	204	2.17
増減額(B－A)	△2,127	△324	△339	△370	－
増減率(%)	△1.7	△9.3	△14.0	△64.5	－
(ご参考) 前期実績 (平成20年3月期)	116,616	2,869	1,964	△1,017	△18.37

3. 平成21年3月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想(A)	1,110	224	256	57	0.32
今回修正予想(B)	1,110	107	288	145	1.82
増減額(B－A)	0	△117	32	88	－
増減率(%)	0.0	△52.2	12.5	154.4	－
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	1,139	286	316	14	△0.39

4. 平成21年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想(A)	2,239	534	398	43	△0.53
今回修正予想(B)	2,238	259	407	51	△0.41
増減額(B－A)	△1	△275	9	8	－
増減率(%)	△0.0	△51.5	2.3	18.6	－
(ご参考) 前期実績 (平成20年3月期)	2,289	558	502	28	△0.78

修正の理由

当第2四半期連結累計期間の連結業績につきましては、米国発の金融不安の世界的な拡がりに加え、原油価格・穀物価格の高騰など、景況感の悪化傾向の強まりから個人消費の冷え込みが一層強まっており、売上高は郊外店を中心に来店客数の減少等により、前回発表予想を下回る見込みとなりました。

更に、利益面につきましても、グループ全体の仕入れボリュームを活かした **Buying Power** の維持・強化と共に、各仕入先とのより密接な連携や、また、ワークスケジュール管理の深化を図るなど販管費の効率性を高めることに努めてまいりましたが、売上高減少を主要因として、前回発表予想に対し未達となる見込みとなりました。

通期につきましては、第2四半期連結累計期間までの実績を踏まえ、既存店の体質強化に力点を置くと共に、当社グループの繁忙期である年末・年度末における宴会プランの拡充など売上高の回復に最大限努めてまいりますが、第2四半期連結累計期間の業績予想の修正を勘案し、また、下期におきましても不安定な経済環境とそれに伴う個人消費の冷え込みなど厳しい環境が続くものと考えられることから、前回発表予想の修正をいたします。

尚、個別業績につきましては、システム投資に対する償却負担や株主数増加に伴う管理コスト等の増加、また、連結子会社からの配当金の増加等により、第2四半期累計期間及び通期の業績予想を修正いたします。

II. 特別利益及び特別損失の発生について

1. 特別利益の発生について

当社連結子会社である株式会社コロワイド西日本が運営しておりました店舗におきまして、立ち退きに伴う固定資産売却益が240百万円発生いたしました。

2. 特別損失の発生について

当第2四半期連結累計期間におきまして、不振店舗等の固定資産を対象に10物件に対し減損損失234百万円を計上することといたしました。

※この業績予想につきましては、発表日現在におきまして入手可能な情報に基づき作成したものでありますので、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。